

# 新エネルギー活用推進プロジェクトチームに 提案されたプロジェクトへの支援等について

新エネルギー活用推進プロジェクトチームでは、提案された32件のプロジェクトについて、内容の精査や提案者へのヒアリングを行うとともに、外部有識者の意見も伺いながら対応を検討してきた。

このたび、現時点での計画熟度が高く、先導的な事業展開が可能と考えられる以下の提案について、重点支援プロジェクトに選定し、別途取りまとめた「新エネルギーの導入・既存エネルギーの高度利用に係る当面の推進方策」に基づき、円滑な事業化に向け庁内横断的な支援を行うこととする。

これらの支援を通じて、今後本県内で、約10MWの新たな事業展開が見込まれ、将来的には合計100MW規模へと拡大することが期待される。

## 1 重点支援プロジェクトについて

現時点での計画熟度が高く、先導的な事業展開が可能と考えられる5件のプロジェクトを重点支援プロジェクトに選定する（詳細別紙）。

これらのプロジェクトは、既に事業用地を確保済みであるほか、地元企業によるエネルギー分野への事業拡大や、未利用となっている事業跡地の二次利用、市町村による小水力発電などの特色を有するものであり、それぞれの事業化に向けた取組が進められているところである。

これらは、本年7月の再生可能エネルギー特別措置法施行後の早期の段階で事業化が見込まれるものであり、合計で7.5MW程度の出力が見込まれる。

上記のほか、提案されたプロジェクトやその他寄せられた事業提案の中には、県内の大規模未利用地の活用につながるものもあり、今後用地の確保などで関係者等での調整が必要となるものの、合計で数十MW程度のポテンシャルがあると見込まれる。これらの未利用地を活用した事業についても、関係市町村等と連携しつつ、その促進方策について検討を深めていく。

## 2 その他提案されたプロジェクトについて

提案されたプロジェクトの中には、中小企業による共同の取組や森林政策への活用など、新エネルギー導入をきっかけに地域振興や経済活性化を図る趣旨の提案などもあるほか、再生可能エネルギー特別措置法に基づく買取価格や買取期間等の決定により計画熟度が高まると考えられる提案もあり、これらについては、必要に応じて計画熟度の向上を支援していく。